

所 属	総合企画部観光交流推進局 地域振興課		
担当(係)名	地域振興担当	内線	2436

新 過疎地域の元気づくりへの支援（過疎地域の総合支援）

< 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 >

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
37,048	一般財源 37,048	委託料 36,899
(前年度 0)		

2 背景・現状

人口減少・高齢化が進行する過疎地域では、経済活動が縮小し、地域行事の継続や農地の共同管理が困難となった結果、そこに暮らす方々の郷土への愛着が薄れ、集落機能が低下しつつある。集落の維持・再生を図るためには、担い手となる人材の確保をはじめ、総合的かつ早急な支援が必要である。

3 事業目的

過疎地域に暮らす方々の生活支援、産業振興、耕作放棄地の活用、森林保全など、過疎地域を取り巻く個々の課題に対し、県、市町村、大学、企業、地域住民などによる地域一体となった取組（総合支援）を進め、過疎地域に暮らす方々の誇りの回復や小さいながらも経済的潤いを生み出す環境づくり（元気づくり）を支援する。

4 事業概要

若手職員からなる「ふるさと応援チーム」の派遣、大学と連携した若者の派遣、地域に根ざした企業等による複合的な事業の実施など、過疎地域への総合的な支援を実施する。

過疎地域総合支援事業

(1) 「ふるさと応援チーム」の派遣

農政部、林政部など過疎支援事業を行う県庁各部局等と連携し、過疎地域の支援に特化した若手職員のチームを市町村からの要請に応じて派遣。棚田保全、耕作放棄地の活用等、条件不利地域でも自立できる取組を支援する。

(2) 過疎地域大学連携モデル事業（4,738千円）

過疎地域に直接、若者等人材（地域がんばり隊）を派遣し、農林業の手伝い、地域行事の支援などを実施。地域の課題や支援方策を検討するだけでなく、地域での活動を契機とした移住を目指す。

< 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 >

(3) 地域振興チャレンジ事業（32,310千円）

主に過疎地域において事業展開をしている民間企業やNPO法人等から、観光交流、特産品開発、農産物生産など複合的な地域振興事業の提案を募集。過疎地域における雇用の場の創出と新たなビジネスの創出を目指す。

< 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 >

(款) 5 労働費 (項) 1 労政費 (目) (3) 雇用促進費
(明細書事業名) 緊急雇用特別対策費
委託事業費 (重点分野雇用創造分)